**要望書**

令和４年９月３０日

足 立 区 長

近　藤　やよい　殿

出会い！婚活応援プロジェクト推進

足立区議会議員懇談会

新井　ひでお

ぬかが　和子

長谷川　たかこ

市川　おさと

大竹　さよこ

くじらい　　実

杉本　ゆう

土屋　のりこ

水野　あゆみ

山中　ちえ子

**足立区における地域少子化対策重点推進（強化）交付金を**

**活用した婚活事業を推し進めることを強く求める要望書**

非正規雇用、低賃金、長時間労働などによる生活・就労の不安定化、保育所不足による仕事と子育ての両立の難しさが若年世代の結婚・出産を躊躇させ、少子化の要因となっていることは否めない。2021年12月21日に厚生労働省から発表された「2021年10月の人口動態統計速報」では、出生数は前年比で約3万9千人の減、婚姻数も約2万4千件の減とコロナ禍による影響も併せて如実に表れている。

イギリスやフランス、スウェーデンなど欧州のいくつかの国では、政府の「子ども施策」によって出生率が回復し、人口増が期待される効果的な施策が実行されている。我が国では内閣府において少子化危機突破タスクフォースを発足させ、地域少子化対策重点推進（強化）交付金を各自治体に補助することで、日本全国で少子化対策の取り組みを後押ししている。

結婚を望まれている方々の意見を施策に反映させ、そのニーズに応じた結婚に向けての情報提供を丁寧に行うと共に、「住みたい街・住み続けたい街」を実現するための方策を明確に示すことが必要である。併せて、国で提言されている「結婚から妊娠、出産、育児へと切れ目ない子育て支援策」を足立区で実行に移すためにも、国が示す地域少子化対策重点推進（強化）交付金を活用した施策を積極的に活用し、『安心して子育てができる街・足立区』を目玉とする大胆な施策展開を強く要望する。